

平成 26 年 10 月 7 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 茨城県立 水戸第二 高等学校
2. 講師氏名: Dr. Benjamin D .LINDNER [大阪大学大学院基礎工学研究科]
3. 同行者氏名: 戸部 義人 教授
4. 実施日時: 平成 26 年 10 月 4 日 (土) 13 : 30 ~ 15: 30
5. 参加生徒: 2年生 34 人、 ___年生 ___人、 ___年生 ___人 (合計 ___人)
備考: (例:理数科の生徒) スーパー・サイエンスクラス
6. 講演題目: (英文) An Introduction to Germany and to a Research Career in Chemistry
(和文)
7. 講演概要: Part 1 Germany and Bavaria ; Culture, History, Food , Cities
Part2 Science and Chemistry ; University , chemical transformations,
useful products from raw materials, the importance of English in
science, working in the lab
8. 使用言語: English
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 30 分
 - (2) 講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、 実験(題材;Fluorescence)
 - (3) 通訳 (例:同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: 外国人研究者も同行者も人物的に大変すばらしく、本校生徒にとって貴重な経験となった。このサイエンス・ダイアログ プログラムにまた参加させていただく機会を得られればよいと心から思う。